

総括

貴院は昭和63年に開設以降、病床の拡大、施設・設備、機能の充実に努め、平成22年には狭隘化した病院を2.5倍の面積にして現在地に新築移転している。屋上にヘリポートの設置、救急部門の拡充、高度医療機器の導入などによる医療機能の充実に努め、患者の利便性にも配慮した適切な努力が図られている。また、がん治療を集約化したオンコロジーセンターの開設、再生医療のセルプロセッシングセンターの開設など、次世代医療にも対応できる設備を進めており、湘南鎌倉地域の中核病院として地域住民の高い信頼を得ている。

今回は病院機能評価の2回目の認定更新受審であったが、病院長を始め全職員が一体となって準備に取り組み、その成果は随所で確認された。若干の課題はみられるものの、総体的には高いレベルにあることが確認された。今後、医療設備の充実した環境のなかで、病院機能のさらなる充実・向上に向けた取り組みを期待したい。

「1. 病院組織の運営と地域における役割」

病院の理念と基本方針は明文化されている。ただ、基本方針は理念の実行方法として明確にしているが、患者・家族への周知については、ホームページの掲載のみであり、適切な対応が望まれる。病院管理者・幹部は、組織運営上の課題などを明確にして適切なリーダーシップを発揮しているが、医療の質の確保・向上に向けたさらなる取り組みを期待したい。中・長期計画は、年次目標などの活動計画の具体性が望まれる。病院組織の運営については、管理会議を中心に各種の会議・委員会が機能しており適切である。情報管理機能の体制は整備され、診療実績に関する情報が把握され、主要な会議等において活用されているが、クリニカル・インディケータの設定・活用の充実が望まれる。全職員を対象とした教育・研修については、職員教育・研修委員会が計画・実施しているが、研修内容の充実と出席者の増加について組織的な取り組みが望まれる。地域における役割と連携では、地域連携室が病診連携・医療相談・地域医療などの機能において適切な連携を図っている。地域の健康増進活動として公開医学講座を多くのテーマにより、毎月継続的に取り組んでおり、その実績は高く評価される。今後の継続を期待する。継続的な医療サービスの改善活動には、マーケティング委員会による組織的活動による実績もあり評価される。

「2. 患者の権利と医療の質および安全の確保」

患者の権利に関しては、最近改訂が行われているが、患者・家族、職員への周知が適切に行われている。臨床の倫理に関しても方針や課題が明確にされ、臨床研究への取り組みも適切である。患者－医療者のパートナーシップにおける説明と同意の方針・手順が明確にされ、クリニカル・パスの活用、診療情報の開示、個人情報保護の方針が

適切に整備されている。患者の安全確保に関しては、組織体制が確立し、安全確保の各種の手順が整備されている。安全確保のための活動については、院内のインシデント・アクシデント情報の適切な分析による効果的な活用や、安全確保のための教育・研修の充実、緊急時の召集訓練の定期的な実施などが望まれる。医療事故発生時の対応体制は適切に整備されている。医療関連感染管理に関しては、組織体制が確立しており、各種の手順が整備され、感染情報が収集・活用され、アウトブレイクへの対応も整備されているが、教育活動については、実施内容の評価が望まれる。チーム医療の推進では、電子カルテを活用して、各職種間の診療情報の共有が図られており、診療科間の診療協力や多職種による診療協力の仕組みがあり、適切である。ただ、診療の質向上に向けた取り組みやクリニカル・パスの活用等による診療の標準化に関しては、さらなる取り組みを期待したい。

「3. 療養環境と患者サービス」

病院の案内機能は、玄関ロビーの目立つ場所に総合案内があり、マーケティング課が適切に対応している。案内表示・掲示などには、医療法・療養担当規則より必要とされる情報が提供されており、文字の大きさ、見やすさなどの配慮も見られる。外来待ち時間調査は、毎年定期的実施し、実態の把握に努め、適切な対応が望まれる。待つことの苦痛軽減については、待ち状況の表示などの工夫はされているが、貴院は外来患者の多い病院であり、さらなる取り組みが望まれる。患者・家族の相談には地域連携室の医療相談担当者が適切に対応し、退院支援にも参画している。また、患者・家族の意見・苦情への取り組みにも適切に対応し、要望に対する対応策は患者にわかりやすく掲示されている。外来・入院患者の満足度調査を定期的実施しているので、今後の有効活用が望まれる。患者や面会者の利便性には、近隣の2駅よりシャトルバスを運行するなど、適切な配慮がなされており、高齢者や障害者に対する配慮も適切に行われている。また、患者のプライバシーの確保についても適切な配慮がなされている。療養環境は、新設の病院として廊下幅、環境、インテリアの整備などは高く評価されるが、病棟におけるデイルーム、食事場所の確保などは十分とは言えない。トイレ・浴室の施設的配慮は適切であり、外来トイレは多くの患者数に対応できるスペースが確保されている。

「4. 医療提供の組織と運営」

診療部門の管理・責任体制は明確にされ、急性期・高度先進医療の提供病院として施設・設備は適切に整備されているが、貴院の機能より、病理医・耳鼻科医・整形外科医等の確保に向けた取り組みが望まれる。医師の学会・研修会への参加は奨励されており、医師の能力開発にも努めているが、医師の能力評価については、客観的な評価基準により定期的実施されることが望まれる。看護部門は、体制の整備、目標管理、能力開発などが適切に行われ、看護サービスの質改善に取り組んでいるが、看護副部長の業務規程を整備されたい。薬剤部門は業務が多様化するなかで、部門業務・病棟業務に適切に対応している。臨床検査機能の体制は確立し、多様な検査ニーズに適切に対応して

いる。病理診断機能は適切に発揮されている。ただ、貴院の医療機能・病院規模などより病理診断に必要な医師の補充・配置が期待される。また、画像診断機能における、CT・MRIの撮影件数などから放射線科専門医の充実も期待される。輸血・血液管理機能、手術・麻酔機能、洗浄・滅菌業務、集中治療機能、救急医療機能などは体制が整備され、適切な機能が発揮されている。栄養管理機能では、管理栄養士の病棟業務への積極的な参加があり、評価されるが、夏季における調理室の温度は25℃を上回る日が見られるので、衛生管理に十分な配慮が望まれる。リハビリテーション機能、診療記録の管理、情報システム管理機能、在宅療養支援機能、外来診療機能なども体制が整備され、機能が適切に発揮されている。臨床研修機能では、臨床研修に関する理念・基本方針を明確にし、必要な体制を整備し研修プログラム機能が適切に発揮されている。

「5. 医療の質と安全のためのケアプロセス」

病棟における診療・看護の基本方針や目標は病棟の特殊性に基づいて作成されているが、一部の病棟においては医師の参画が見られない。協働して策定されることが望まれる。医師・看護師の役割と責任体制は明確にされており、病棟における倫理的問題への取り組みも適切である。入院目的は明確であり、入院診療計画・看護ケア計画は入院時の情報に基づき多職種により検討・作成され、見直しも含め患者に説明し、同意が得られている。口頭指示を含め、指示伝達の一連の仕組みは確立しており、確実に実施され診療録に記載されている。基本的な病棟業務は関連職種により適切に行われ、入院生活の支援も適切である。ケアの実施では診断的検査、投薬・注射が確実に安全に実施され、薬剤師の関与も適切である。また、輸血・血液製剤の投与も適切に行われている。周術期の対応も、医師・看護師の術前訪問を含め適切である。栄養管理・食事指導にはNSTの積極的な関与があり、疼痛などの症状緩和も適切に対応し、リハビリテーションの実施では、リスクについての説明を確実にを行い、確実に安全な実施に努めている。身体抑制は医師の指示に基づいて実施されているが、解除について医師の指示と確認の記載が望まれる。退院時支援には適切に対応し、ターミナルステージの患者には適切な診療・ケアが提供されている。ケアプロセスにおける感染対策は手順が遵守され、感染リスクの低減に努めているが、清潔を必要とする処置時の環境については、十分に配慮されたい。診療・看護の記録は電子カルテ記載基準により適切に記載されているが、質的監査の充実と確実な担当者へのフィードバックが望まれる。病棟における薬剤・医療機器の管理は病棟担当薬剤師、臨床工学技士の関与があり、適切に実施されている。ベッド・マットは安全性・清潔性に配慮されており適切である。

「6. 病院運営管理の合理性」

人事・労務の体制は整備されており、就業規則等の改訂も適切に行われている。法定人員、施設基準の必要人員は確保されているが、病院の機能より必要とされる一部の医師については、今後の充足が望まれる。就労管理では、働きやすい職場を目指してホスピタリティの認定病院となり、特に院内保育所の整備状況は評価されるが、年間労働時

間・有給休暇の取得率については、職種間の差が見られるので配慮が望まれる。人事考課については、職員の意欲・資質の向上、組織の活性化のためにも、本人に周知され、有効活用されることが望まれる。職場の労働環境は適切に整備されているが、職場の安全衛生の確保の視点から、非常勤医師の健康診断の結果の確認に努められたい。財務会計、予算管理、経営管理は適切に行われており、医事業務、病床管理も適切である。施設・設備の管理は、計画的に実施されている。廃棄物の処理、分別、梱包、表示などは適切である。物品購入の多くは、本部の一括購入により効果的な仕組みが確立しており、内部牽制の機能も確立している。在庫管理も適切である。業務委託もおおむね適切に管理されている。災害発生時の対応体制、保安管理、医事紛争など危機管理への取り組みは適切である。